

平成 31 年 4 月 26 日

赤穂市長 様

赤穂市立野外活動センター
赤穂市指定管理者
神姫バスグループ共同事業体
代表団体 株式会社ホープ
代表取締役 佐々木 武文



平成 30 年度 赤穂市立野外活動センターの事業報告について

赤穂市立野外活動センター指定管理者管理運営基準 4-(2)-イの規定に基づき、平成 30 年度管理委託に係る事業について、別紙のとおり報告いたします。



2. 管理業務の利用状況（人数）

		利用者人数・区分					合計	延人数		合計	件数		合計
		幼児	小学生	中学生	高校生	一般		市内	市外		市内	市外	
4月	30年	259	304	43	15	2,310	2,931	2,356	657	3,013	376	198	574
	29年	186	137	105	31	2,073	2,532	1,909	655	2,564	300	162	462
	増減	73	167	-62	-16	237	399	447	2	449	76	36	112
5月	30年	53	82	24	2	514	675	642	153	795	35	5	40
	29年	108	167	40	4	884	1,203	1,258	187	1,445	35	7	42
	増減	-55	-85	-16	-2	-370	-528	-616	-34	-650	0	-2	-2
6月	30年	54	71	0	0	386	511	490	80	570	22	3	25
	29年	1	39	16	2	365	423	431	49	480	21	2	23
	増減	53	32	-16	-2	21	88	59	31	90	1	1	2
7月	30年	26	75	18	1	433	553	407	422	829	21	5	26
	29年	34	192	69	47	389	731	643	474	1,117	23	3	26
	増減	-8	-117	-51	-46	44	-178	-236	-52	-288	-2	2	0
8月	30年	110	356	72	33	454	1,025	912	732	1,644	33	13	46
	29年	46	260	164	45	503	1,018	968	620	1,588	44	10	54
	増減	64	96	-92	-12	-49	7	-56	112	56	-11	3	-8
9月	30年	39	147	30	6	350	572	613	78	691	16	4	20
	29年	41	53	1	0	220	315	312	50	362	15	2	17
	増減	-2	94	29	6	130	257	301	28	329	1	2	3
上期計	30年	541	1,035	187	57	4,447	6,267	5,420	2,122	7,542	503	228	731
	29年	416	848	395	129	4,434	6,222	5,521	2,035	7,556	438	186	624
	増減	125	187	-208	-72	13	45	-101	87	-14	65	42	107
10月	30年	43	107	0	3	382	535	351	414	765	15	6	21
	29年	31	97	0	0	160	288	291	72	363	12	2	14
	増減	12	10	0	3	222	247	60	342	402	3	4	7
11月	30年	75	65	27	6	195	368	395	40	435	15	5	20
	29年	117	51	4	1	296	469	438	93	531	10	4	14
	増減	-42	14	23	5	-101	-101	-43	-53	-96	5	1	6
12月	30年	61	88	6	6	164	325	360	71	431	8	4	12
	29年	28	37	2	6	75	148	132	32	164	3	1	4
	増減	33	51	4	0	89	177	228	39	267	5	3	8
1月	30年	4	68	39	10	386	507	495	46	541	9	2	11
	29年	17	110	23	10	446	606	646	4	650	9	1	10
	増減	-13	-42	16	0	-60	-99	-151	42	-109	0	1	1
2月	30年	58	29	0	1	284	372	307	112	419	11	12	23
	29年	25	53	16	0	210	304	237	97	334	12	4	16
	増減	33	-24	-16	1	74	68	70	15	85	-1	8	7
3月	30年	28	236	38	0	370	672	640	195	835	17	6	23
	29年	40	178	21	3	336	578	576	88	664	13	2	15
	増減	-12	58	17	-3	34	94	64	107	171	4	4	8
下期計	30年	269	593	110	26	1,781	2,779	2,548	878	3,426	75	35	110
	29年	258	526	66	20	1,523	2,393	2,320	386	2,706	59	14	73
	増減	11	67	44	6	258	386	228	492	720	16	21	37
合計	30年	810	1,628	297	83	6,228	9,046	7,968	3,000	10,968	578	263	841
	29年	674	1,374	461	149	5,957	8,615	7,841	2,421	10,262	497	200	697
	増減	136	254	-164	-66	271	431	127	579	706	81	63	144

3. 利用の料金の収入実績

		施設使用料	実費弁償料	小計	自主事業収入	総計
4月	30年	23,360	22,630	45,990	177,338	223,328
	29年	18,700	41,950	60,650	97,999	158,649
	増減	4,660	-19,320	-14,660	79,339	64,679
5月	30年	19,240	45,070	64,310	187,429	251,739
	29年	31,900	88,920	120,820	172,324	293,144
	増減	-12,660	-43,850	-56,510	15,105	-41,405
6月	30年	13,300	18,130	31,430	103,793	135,223
	29年	7,000	72,720	79,720	159,336	239,056
	増減	6,300	-54,590	-48,290	-55,543	-103,833
7月	30年	56,410	168,590	225,000	561,846	786,846
	29年	49,440	342,700	392,140	126,074	518,214
	増減	6,970	-174,110	-167,140	435,772	268,632
8月	30年	61,660	409,660	471,320	959,798	1,431,118
	29年	67,240	502,610	569,850	1,569,406	2,139,256
	増減	-5,580	-92,950	-98,530	-609,608	-708,138
9月	30年	10,120	52,620	62,740	71,212	133,952
	29年	6,320	48,130	54,450	121,594	176,044
	増減	3,800	4,490	8,290	-50,382	-42,092
上期計	30年	184,090	716,700	900,790	2,061,416	2,962,206
	29年	180,600	1,097,030	1,277,630	2,246,733	3,524,363
	増減	3,490	-380,330	-376,840	-185,317	-562,157
10月	30年	47,970	78,010	125,980	59,429	185,409
	29年	10,110	91,870	101,980	56,346	158,326
	増減	37,860	-13,860	24,000	3,083	27,083
11月	30年	4,990	47,050	52,040	150,257	202,297
	29年	14,340	23,720	38,060	165,314	203,374
	増減	-9,350	23,330	13,980	-15,057	-1,077
12月	30年	7,740	79,295	87,035	16,542	103,577
	29年	4,000	23,760	27,760	9,524	37,284
	増減	3,740	55,535	59,275	7,018	66,293
1月	30年	4,620	20,710	25,330	180,758	206,088
	29年	400	66,550	66,950	21,014	87,964
	増減	4,220	-45,840	-41,620	159,744	118,124
2月	30年	15,640	20,000	35,640	125,922	161,562
	29年	9,500	48,870	58,370	80,418	138,788
	増減	6,140	-28,870	-22,730	45,504	22,774
3月	30年	13,790	141,410	155,200	156,260	311,460
	29年	4,400	92,710	97,110	78,021	175,131
	増減	9,390	48,700	58,090	78,239	136,329
下期計	30年	94,750	386,475	481,225	689,168	1,170,393
	29年	42,750	347,480	390,230	410,637	800,867
	増減	52,000	38,995	90,995	278,531	369,526
合計	30年	278,840	1,103,175	1,382,015	2,750,584	4,132,599
	29年	223,350	1,444,510	1,667,860	2,657,370	4,325,230
	増減	55,490	-341,335	-285,845	93,214	-192,631

4. 管理業務に係る経費の収支状況

平成30年度 収支報告書

<収入>

項 目	計画金額	実績金額	備 考
指定管理料	8,500,000	8,500,000	
使用料収入等	1,680,000	1,382,015	使用料および実費弁償料
自主事業収入	3,667,000	2,566,350	自主事業収入
その他収入	163,100	184,234	自動販売機手数料
合 計	14,010,100	12,632,599	

<支出>

項 目	計画金額	実績金額	備 考	
人件費	給料	4,750,000	4,803,404	計画金額：賞与含む
	法定福利費	496,000	137,128	
	厚生福利費	70,000	81,420	
	賞与	—	212,000	
小計	5,316,000	5,233,952		
事務費	消耗品費	502,000	586,093	施設消耗品
	通信運搬費	250,000	249,731	電話代・切手代等
	水道光熱費	800,000	883,944	電気・水道・ガス
	修繕費	450,000	122,274	
	燃料油脂費	70,000	34,934	
	諸施設使用料	0	8,748	勤怠管理システム使用料
	宣伝広告費	150,000	165,501	アウトドア専用HP掲載、神姫バスデジタルサイネージ等
	教育実習費	40,000	362	
	会議費	0	3,780	スタッフミーティング開催費用
	諸負担金	0	9,000	魚介類販売業申請費用
図書印刷費	60,000	0		
小計	2,322,000	2,064,367		
管理費	委託費	550,000	522,504	整備・衛生管理・警備業務
	被服費	70,000	8,359	
	旅費	250,000	202,651	
	その他経費	3,494,150	1,798,715	自主事業に係る経費・ごみ処理代・手数料等
	租税公課	546,552	613,559	精算消費税（595,259円含む）
小計	4,910,702	3,145,788		
事業費	保険料	106,000	90,081	施設賠償保険等
	運営費	922,448	2,098,411	一般管理費
小計	1,028,448	2,188,492		
合 計	13,577,150	12,632,599		

5. 自主事業にかかる経費の収支状況

<収入>

項 目	金 額	備考
バーベキュー・牡蠣食材販売事業	391,900	
バーベキュー用具等提供事業	575,000	
バーベキュー用具等物品販売事業	128,000	
自動販売機設置手数料	184,234	
その他事業	1,471,450	合宿プラン、幼児向け絵本疑似体験イベント等
合 計	2,750,584	

<支出>

項 目	金 額	備考
バーベキュー・牡蠣食材販売事業	283,464	
バーベキュー用具等物品販売事業	121,552	商品仕入れ
その他事業	1,391,646	合宿食事代、イベント実施経費等
合 計	1,796,662	

収入	2,750,584
支出	1,796,662
差額	953,922

6. 管理業務等の実施状況

(1) はじめに

平成 30 年度の主な取り組みは、当施設の設置目的『市民の健康づくりに寄与し、青少年の体力向上と情操の涵養をはかり、自然に親しむ野外活動活動を普及振興する』を念頭に置き、利用者に対しての安全な施設環境の提供、施設整備の重要性を考慮した業務を行いました。

また常に利用者ニーズの把握に努め、定期的開催したスタッフミーティングにて課題の改善や効果的な管理運営を行うための協議を実施しました。

○安全な施設環境の提供

施設を安全に利用していただくため、施設内に存在する危険要因を洗い出し、点検作業はもとより、危険と判断した場合は早急に対策を講じ、安全な施設環境の提供を行いました。

①管理棟前手摺改修

当施設において最も多くの方が行き来する管理棟前の手摺の改修作業を実施しました（右写真・上）。

当社グループの管理運営する他施設において、ペンキなどの塗装が剥がれ、塗装片により裂傷を負う事故が発生したこともあり、同様の事故の未然防止のため、劣化した塗装を剥がし、手摺りを再塗装し、事故発生要因を取り除いています。

また手摺下欄干に取り付けていた転落防止網も劣化していたことから、更新を行いました（右写真・下）。



②ウッドデッキ補修

平成 29 年 3 月に作製したウッドデッキの補修作業として、点検により素材の損傷や劣化が確認された箇所については素材を入れ替え、常に風雨にさらされることから、改めて防水・防腐塗装の補修作業を行いました。



③芝生広場・フレッシュ広場内柵等設置・補修

芝生広場・フレッシュ広場において、施設敷地内は安全が確保できているものの、管理境界線外は崖になっているなど、転落等の危険要因が潜んでおります。

安心して施設を利用していただくために防護柵の改修・補修や、柵が設置されていない箇所には転落防止ロープを設置し、安全の確保に努めました。



(2) 施設の利用状況について

昨年度に引き続き市内外のボーイスカウト団体の利用が定期的に行われた他、市内企業や行政機関の研修会場としての利用が増加したうえ、市内スポーツ施設と連携した小学生・中学生のスポーツ合宿誘致も軌道に乗り（詳細後述記載）、大幅に利用人数を増加させる結果となりました。

また新たな利用形態として、幼児と保護者で形成されるサークル・団体の利用が今年度増加し、幼児区分の利用増加の要因となっています（下表参照）。

	市内件数	市外件数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	延人数	宿泊人員
29年度	497	200	674	1,374	461	149	5,957	8,615	1,647
30年度	578	263	775	2,562	569	40	7,022	10,968	1,922
増減	81	63	101	1,188	108	▲ 109	1,065	2,353	275
比率	116.3%	131.5%	115.0%	186.5%	123.4%	26.8%	117.9%	127.3%	116.7%

○施設 PR 方法と集客活動について

新たな施設利用者の開拓を目的に、旅行情報誌やインターネットサイトからの取材・掲載依頼を積極的に行うことにより、施設利用者が前年比 6.8%増（706名増）となりました。

またボーイスカウトや県内の野外活動を行う団体等を支援する兵庫県青少年本部へ当社グループが管理運営を行うアウトドア施設の情報をまとめたリーフレットの配布依頼を行い、広範囲へ当施設の認知度を向上させる活動を行っております。



上：旅行情報誌掲載ページ
下：配布リーフレット（左下掲載）

○自主事業の実施について

幼児・小学生低学年向けの事業として、施設内芝生広場や隣接する遊歩道などを活用して絵本の世界を疑似体験できるアウトドアイベントを実施しました。

連携するアウトドア専門団体のリーダーが講師となり、子どもたちの自主性や協調性なども育むことができ、多くの参加者および保護者より満足をいただきました。



(3) 安全対策と緊急時の対応

『安全は全てに優先する』という安全に関する基本理念のもと、施設内の日常的な巡視方法や手順を再確認し、施設・設備の危険箇所や異常個所の発見、及び不審者の有無についてもチェックを行い、速やかな対応処置により危険を排除して安全確保に努めました。

- ・『危機管理マニュアル』を再確認し、災害発生時の対応、避難経路等をスタッフ及び利用者への周知徹底を図っています。
- ・管理棟前手摺の塗装劣化による裂傷を防ぐための再塗装作業や、同箇所転落防止網の交換作業、芝生広場・フレッシュ広場の防護柵の補修等、利用者の安全に配慮した施設管理を行いました。

【安全管理・危機管理に関する基本事項】

事故防止

- ・日常の巡回巡視による危険箇所のチェックと改善の実施
- ・専門業者による定期点検と施設責任者による最終確認
- ・利用者への注意喚起

衛生管理

- ・食品衛生責任者による、毎日の厨房管理や食器類の衛生管理
- ・消毒液・マスクの常備
- ・感染症予防の対応
- ・スタッフによる巡回中の清掃

(4) 利用者ニーズの把握について

全利用者様に対しアンケート調査を行ったうえ、スタッフによる声掛けや施設ホームページに意見聴取のページを設け、多方面よりニーズの把握に努めました。

(5) 施設運営ルールの再徹底

○施設設置条例・協定書等の理解

利用者に対して施設の利用条件や利用の案内を適切に行うために、本社スタッフも含めて施設設置条例・指定管理者基本協定書を理解するためのミーティングを実施したことに加え、利用案内・接遇に関する職場内研修を実施しました。

(6) 施設維持管理について

平成 30 年度に実施した主要な維持管理と修理内容は次の通りです。

平成 30 年 4 月～ 10 月の期間の月 1 回	環境衛生管理業務（害虫駆除） 厨房・談話室・事務所・トイレ・倉庫・機械室業者による 薬品散布実施。
平成 30 年 4 月 18 日 ～27 日のうち 6 日間	管理棟前手摺錆落とし研磨及び錆止め塗装作業
平成 30 年 5 月 7 日	消防設備点検（総合点検）
平成 30 年 5 月 9 日	管理棟内分電盤絶縁測定（電気設備点検）
平成 30 年 7 月 24 日	消防設備器具更新作業（消火器取替）
平成 30 年 8 月 5・6 日	管理棟前階段手摺錆落とし研磨及び錆止め塗装作業
平成 30 年 9 月 19 日 ～22 日	管理棟前手摺錆落とし研磨及び錆止め塗装作業 転落防止網取付作業
平成 30 年 10 月 5 日 ～19 日のうち 6 日間	展望台横ウッドデッキ防水塗装・補強作業
平成 30 年 11 月 5 日	消防設備点検
	電気設備簡易点検（分電盤内点検）
	ボイラー設備点検
平成 31 年 2 月 25 日	施設入口案内板補修作業
平成 31 年 3 月 11 日	芝生広場植栽横階段保護柵取付・補修作業、
平成 31 年 3 月 14 日	フレッシュ広場前落下防止ロープ補修作業
平成 31 年 3 月 21 日	フレッシュ広場前落柵補修作業

(7) 自主事業について

①物品販売事業（バーベキュー食材・用品提供）

実施概要：利用者の利便性向上のため、バーベキュー食材や地元産牡蠣の販売（取次）の実施、バーベキュー用品のレンタルを行いました。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

販売実績：バーベキュー食材 308,250円
殻付牡蠣 83,650円
用品提供 575,000円

②赤穂元禄・海浜スポーツセンターと連携した合宿プラン

実施概要：当社グループの管理運営する市内スポーツ施設と連携したスポーツ合宿を誘致し、利用促進に努めました。

実施期間：平成30年7月22日～8月18日（当初申請期間）

平成31年1月12日～1月14日（追加申請期間）

平成31年3月26日～3月28日（ 〃 ）

利用実績：延6団体441名 計18日間利用

③おいでよ！絵本のせかいに！！

実施概要：幼児・小学校低学年向けのイベントとして、絵本の内容を疑似体験できるイベントを実施しました。

実施日：平成30年11月17日

参加数：51名

④元旦初日の出観覧会

実施概要：例年同様に、兵庫県指定無形民俗文化財の赤穂宝専寺「恵比寿・大黒舞」保存会有志の方による、めでた舞を披露いただきました。

併せて、来場された方に甘酒の無料配布を行いました。

実施日：平成30年1月1日 午前6時30分～午前8時

来場者：約350名

⑤自動販売機設置

実施概要：来場者の利便性向上のため、玄関前に自動販売機を設置しました。

今年度よりアイスクリームの自動販売機を1台増設しました。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

販売実績：184,234円（手数料収入）

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立野外活動センター			
所在地	赤穂市御崎708番地1			
指定管理者	団体名： 神姫バスグループ共同事業体	指定期間	開始日	平成30年4月1日
	所在地： 姫路市花田町一本松字牛塚1-1		終了日	平成33年3月31日
選定方法	公募・非公募		評価実施年	指定期間3年のうち1年目
施設設置目的	市民の健康づくりに寄与し、青少年の体力向上と情操の涵養を図り、自然に親しむ野外活動を普及振興する。			
主な実施事業	アウトドア用品レンタル事業、バーベキュー食材販売事業、アウトドアイベント開催等			

2 利用状況（目標と実績）

成果指標		単位	目標	H30実績	目標	H31実績	目標	H32実績
a	利用件数（市内）	件	510	578	525		540	
	利用件数（市外）	件	210	263	215		220	
b	実利用者数（市内）	人	7,100	7,360	7,300		7,500	
	実利用者数（市外）	人	1,500	1,686	1,550		1,600	
c	延利用者数（市内）	人	8,000	7,968	8,250		8,500	
	延利用者数（市外）	人	2,500	3,000	2,580		2,660	
d	施設使用料（市内）	円	0	0	0		0	
	施設使用料（市外）	円	180,000	278,840	195,000		210,000	
e	実費弁償料（市内）	円	650,000	443,425	660,000		680,000	
	実費弁償料（市外）	円	850,000	659,750	870,000		890,000	

3 指定管理業務にかかる収支状況

区分		平成30年度決算	平成31年度予算	平成32年度予算
収入計	A	12,632,599	14,104,890	14,210,880
指定管理料		8,500,000	8,500,000	8,500,000
利用料収入	C	1,382,015	1,725,000	1,780,000
自主事業収入		2,750,584	3,879,890	3,930,880
その他		0	0	0
支出計	B	12,632,599	13,513,000	13,610,000
事業費		10,835,937	10,225,000	10,280,000
内、人件費	D	5,233,952	5,360,000	5,405,000
内、再委託料	E	522,504	550,000	550,000
自主事業費		1,796,662	3,288,000	3,330,000
事業収入	A-B	0	591,890	600,880
利用料比率	C/A	10.9%	12.2%	12.5%
人件費率	D/B	41.4%	39.7%	39.7%
再委託費比率	E/B	4.1%	4.1%	4.0%

- ・ 支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・ 事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守しているか。	B	B
	法令順守等	法令・条例に基づき、必要な点検、報告等を行っているか。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守しているか。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされているか。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	A	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。		B	B	
緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A	
総括	[業務の実施体制]に関する評価【標準18項目/本施設18項目】	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、閉館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	事業運営	言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、必須事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、野外活動センターの維持管理を適切に行っている。	B	A
		仕様書等に従い、野外活動センターの施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
	環境配慮	協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	広報活動	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
		要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
事業評価	要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B	
	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B	
利用状況	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	A	B	
総括	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	A	B	
③ 安定性	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【標準20項目/本施設20項目】	B	B
	経理事務	専用口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	B
総括	「経費の収支等」に関する評価【標準4項目/本施設4項目】	A	B	

所見 <small>(成果・課題等)</small>	【自己評価】 利用者の方々が気持ちよく利用して頂けるように、日々設備の点検補修、植栽管理、清掃業務を確実に実施することで、利用者アンケート等のご意見で好評価を得ることができました。 今後については、築年数の経過した施設であるため、経年劣化箇所の有無を十二分に確認し、利用者の安全確保に努めていきたいと考えます。		
	【所管評価】 施設の利用状況について、前年比で延人数2,353人、宿泊人数275人の増加し、課題であった市内利用人数も増加傾向にあり、施設の適正な維持管理やPRを含めた集客活動など、指定管理者として円滑な管理運営に努められたことは評価できる。また、自主事業においては、合宿プランや幼児向けの絵本の世界の疑似体験イベントで実績を上げたが、当初提案のあった神姫バスと連携したイベントの実施が、今後の課題である。		
前年評価	—	総合評価	B

* 評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価基準項目が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価基準にCが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所轄評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所轄評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。